

第214回 原医研セミナーのご案内

下記のとおりセミナーを開催致します。多数ご参集下さい。

記

日 時：平成30年 8月29日（水）午後4時～

場 所：原医研研究棟3階セミナー室

演 題：原爆被爆者における大腸がん罹患の放射線リスク
：1958-2009

講 師：公益財団法人 放射線影響研究所

主任研究員 杉山 裕美 先生

大腸がん罹患率の放射線影響について、原爆被爆者コホートにおける105,444人を対象とし、生活習慣と肥満指数（Body Mass Index: BMI）で調整し、部位別（全結腸、近位結腸、遠位結腸、直腸）に検討した。ポアソン回帰を用いて、放射線に関連した過剰相対リスク（ERR）と過剰絶対率を部位別に1958年から2009年まで記述した。2,960例の第一原発大腸がんを観察し、そのうち984例が近位結腸がん、871例が遠位結腸がん、1,046例が直腸がんであった。全結腸、近位結腸、遠位結腸において、有意な直線の放射線線量反応がみられたが、直腸がんでは有意な線量反応は観察されなかった。全結腸がんのERRは到達年齢が増加すると減少したが、近位結腸がんのERRは減少しなかった。遠位結腸がんのERRは観察年とともに減少した。結論として、電離放射線は近位結腸がんと遠位結腸がんともに関連し、近位結腸がんのERRは時間を経ても継続するが、遠位結腸がんのERRは時間とともに減少した。この集団においては、直腸がんの放射線影響は継続してみられなかった。

連絡先①：広島大学原爆放射線医科学研究所
分子発がん制御研究分野（内線5893）

連絡先②：広島大学霞地区運営支援部総務グループ
082-257-1611（内線6532）

連絡先③：フェニックスリーダー育成プログラム事務室
082-257-1635（内線6045）